

一 三菱會社所有ノ漁船ニテ回送スヘキ爲換貨
 物ハ總テ新潟物産會社ニ於テ其物品ノ性質
 及數量價格等ヲ審査シ其爲換金額ヲ断定ス
 若物産會社・於テ其断定ヲ誤ルキハ三菱會

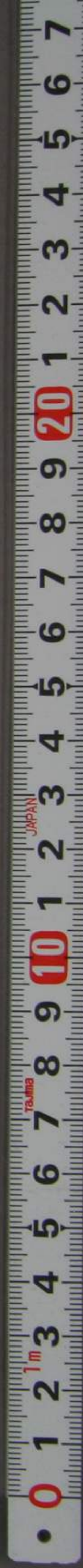
第一條

今敝三菱會社ニ於テ積荷物爲換施行
 有之ヲ以テ有志ノ者申合セ新潟物産
 會社ト稱シ營業創立致シ三菱會社ト
 左ノ條件ヲ定結セリ

大正十一年四月
 大隈侯爵郵寄贈



1061



社ニ對シテ其責ニ任スルモノトス

第二條

一 三菱會社ハ前條ニ陳述スル所ノ物産會社ノ
断定シタル審査証ト本航ヘ搭載シタル舟積
証トヲ認メテ相當ノ爲換金ヲ貸渡スヘシ
但審査ノ金額不相當ト見認ムルハ三菱
會社ハ爲換金ノ貸渡ヲ拒ムイアルヘシ

第三條

一 爲換金ヲ貸与スル貸物ハ東京海上保險會社
ノ危險請負ヲ付シタル貸物ニ限ルヘシ

第四條

一 爲換金ハ乙地着航貨物陸揚清報告當日物貸
ト交換ニ三菱會社ヘ返納スヘシ尤モ貸主ノ
望ニヨリ三菱會社所有ノ倉庫ヘ蔵入スル物
品ハ時價ヲ斟酌シ三菱會社ニ於テ更ニ相當
ノ貸付ヲ爲スヘシ

第五條

一 新井東京間ノ爲荷替料ハ一航海爲荷替金百
圓ニ付金毫四ヲ以テ定規トス

第六條

一三菱會社汽船新瀨港内不在ノ時ト雖モ同社
ノ汽船ニテ回送スヘキ物品ハ貸主ノ望ニヨ
リ其回送ノ期マテ相当ノ貸付ヲ爲スヘシ

第七條

一前條ノ場合ニ於テハ物産會社ハ其物品ノ性
質數量價格等ヲ審査シ貸付ノ金額ヲ断定シ
タル證書ト貸主ノ依頼証トヲ三菱會社ヘ差
出スヘシ而シテ三菱會社ハ該断定証ト依頼
証トヲ信任シテ貸付ヲ爲スヘシ

但貸付金ハ抵当品蔵入ノ後ニ非ラサレハ

授受セサルヘシ又抵当品ヲ差入有之倉庫
ハ開鎖尚封印トモ三菱會社ノ立會ヲ請フ
ヘキモノトス

第八條

一貸付金抵当ノ貨物蔵入中水火盜難等ニ罹リ
損害ヲ生スル時ハ貸主ニ於テ弁償セシムヘ
シト雖モ可償資力ナクシテ若シ不足ヲ生ス
ルモハ物産會社ニ於テ是ヲ弁償スヘシ

第九條

一抵当ノ物品汽船ニ積入ル、時ハ借用證書ヲ

通常ノ為荷換証書ニ厝換ヘシ尤貸付金ノ抵
当物品中汽船ニ積入タル物品ハ貸付金ニ割
合為荷換ト為スヘシ仮令解船ニ有ルモ都テ
貸付金ヲ以テ取扱テヘシ

第十條

一 貸付金利足ハ壹ヶ月金百圓ニ付金壹圓ヲ定
期トス

第十一條

一 貸付金抵当ノ物品ハ第壹條ニ記載セル如ク
悉皆三菱會社汽船ニテ回送可致筈ヲ以テ貸

^附有之ニ付若シ貸主ノ都合ニヨリ回送ヲ止メ
其地ニ於テ他人へ賣却スルモノハ定期ノ利
足ノ外ニ金百圓ニ付金五圓ノ割合ヲ以テ物
産會社ハ償金ヲ徴收シ三菱會社へ納ムヘシ
尤買受人ニ於テ三菱會社ノ汽船ニ積入ノ約
條ヲ結フモノハ其償金ノ徴收ヲ止ムヘシ

第十二條

一 貸付金ハ三ヶ月以内ヲ以テ貸付ノ期限トス

第十三條

一 三菱會社へ收入スルキ為荷換料ハ金高十分

ノ五貸付金ノ利率ハ金高十分ノ四ヲ三菱會社ヨリ物産會社へ保証料トシテ相渡スヘシ

第十四條

一新潟港ヨリ輸出ノ物貨ハ新潟物産會社ノ取扱ヲ經由シテ直ニ三菱會社所有ノ汽船ニ積入ル、モノハ運賃金高百分ノ一又夕東京ヨリ新潟へ輸入ノ物貨東京ニ於テ物産會社ノ取扱ヲ以テ直ニ三菱會社へ出賃スル分ハ運賃金高百分ノ三ヲ三菱會社ヨリ新潟物産會社へ相渡スヘシ

第十五條

一物産會社ハ為荷換立ニ貸付金ノ保証ヲナス為メ抵当トシテ時價貳万圓乃至參萬圓ニ相当スル不動産公債証券地所等之類ヲ新潟第四國立銀行へ保護預ケトシテ該預リ証厝正副貳通ヲ三菱會社へ收メ副書ハ物産會社ニ保存スヘシ

第十六條

一物産會社ハ弁償スヘキ金貨ヲ償フ一能ハザル時ハ三菱會社へ前條ノ抵当品賣却シテ償

ハセ尚不足アリハ他ノ金負ヲ以テ悉皆弁償
ナサシムヘシ

第七條

一此條約ハ明治十二年八月ヨリ爲試施行シ同
十三年七月マテ滿十二ヶ月間ヲ一期トシテ
滿期ニ至リ互ニ便宜ヲ酌量シ此ノ約條ノ改
正ヲ爲スヘシ

右之通議約スルニ付正副貳通ノ証書ヲ作り双
才爲後日互換証仍如件

明治十二年七月

郵便汽船三菱会社

右同支社支配人

濱 政弘

新潟物産会社創立人

新潟縣下新潟区上大川前通
九番町二十四番地

鈴木 長藏

右同所上大川前通十番町
十六番地

藤田 文二

右同所上大川前通九番町
二十七番地

鈴木 長八

右目所兼木町
九番地

荒川才二

右目所西堀通
七番町

西脇悳次郎

右目所上天川前通十一番町
廿七番地

栗林重三郎

右目所上天川前通十一番町
廿二番地

横山勝藏

右目所下北蒲原郡中條町
本町通三十番地

奥村伊栄門